



特集 令和2年度 法人決算概要 / 令和3年度 事業計画  
役員改選について  
統括施設長より

## 令和2年度法人決算概要／令和3年度事業計画

令和3年6月17日に開催された評議員会において令和2年度の決算に関する計算書類と事業報告が承認されましたので、決算内容について公表します。より詳しい内容は法人ホームページまたは、WAMNET「社会福祉法人の財務諸表情報等電子開示システム」で公開中です。

### ■事業報告

令和2年度は、前常務理事森本千尋氏の急逝により、法人にとって大きな激震が走った一年でした。また、新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴い、全事業所は徹底した感染予防対策を行い、幸いにも朔風の職員及び利用者は1人の感染者も出ずに乗り切ることができました。

ただ、新型コロナウイルスにより利用控えや自粛等に伴う収入減も重なり、各事業所とも新規利用者の確保や利用率の向上及び収支改善に課題を残した1年でもありました。次年度は、役職員が一致団結して、利用者を主体とした事業運営を損なうことなく、事業の再編を進め、経営基盤の安定と支援の質の向上を図って行きたいと思っております。

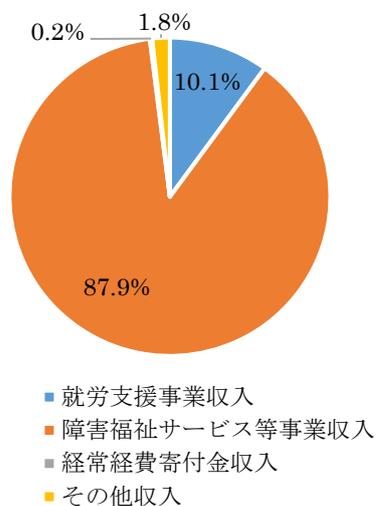
■法人単位資金収支計算書(第1号第1様式) 令和2年4月1日~令和3年3月31日

法人合計【税込】 単位:千円

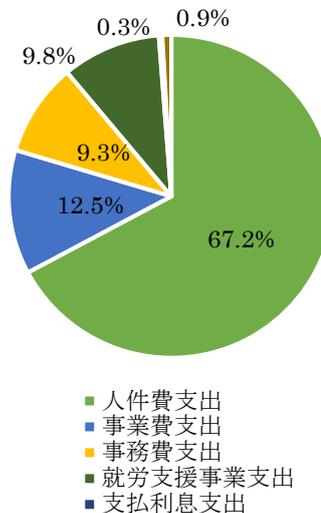
勘定科目		予 算	決 算	差 異	
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	84,899	84,057	842
		障害福祉サービス等事業収入	735,860	735,105	755
		経常経費寄附金収入	1,911	1,911	0
		受取利息配当金収入	10		10
		その他の収入	15,129	14,836	293
	事業活動収入計(1)		837,809	835,909	1,900
	支 出	人件費支出	583,304	582,255	1,049
		事業費支出	110,245	107,909	2,336
		事務費支出	82,395	80,652	1,743
		就労支援事業支出	85,882	85,251	631
		支払利息支出	2,880	2,867	13
		その他の支出	7,880	7,762	118
	事業活動支出計(2)		872,586	866,696	5,890
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-34,777	-30,787	-3,990	
	施設整備等収入計(4)	917	917	0	
	施設整備等支出計(5)	14,451	14,441	10	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-13,534	-13,524	-10	
	その他の活動収入計(7)	87,724	87,722	2	
	その他の活動支出計(8)	55,096	55,056	40	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		32,628	32,666	-38	
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-15,683	-11,646	-4,037	

前期末支払資金残高(12)	214,916	214,916	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,233	203,269	-4,036

事業活動収入内訳



事業活動支出内訳



■法人単位事業活動計算書(第2号第1様式) 令和2年4月1日～令和3年3月31日

法人合計【税込】 単位:千円

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減	
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	84,057	96,748	-12,690
		障害福祉サービス等事業収益	735,105	725,112	9,993
		経常経費寄附金収益	1,911	31,250	-29,339
		その他の収益	2,373	588	1,784
		サービス活動収益計(1)	823,445	853,698	-30,253
	費 用	人件費	585,802	557,382	28,420
		事業費	107,909	100,911	6,998
		事務費	80,652	80,154	498
		就労支援事業費用	85,251	96,823	-11,572
		減価償却費	42,317	42,265	52
国庫補助金等特別積立金取崩額		-7,546	-7,432	-114	
サービス活動費用計(2)	894,385	870,103	24,283		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-70,940	-16,404	-54,536	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,834	-646	2,480	
経常増減額(7)=(3)+(6)		-69,106	-17,051	-52,055	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-40,360	-18,743	-21,617	
当期活動増減差額(14)		-109,466	-95,794	-13,672	
繰越活動増減	前期繰越活動増減差額	236,022	253,834	-17,812	
	当期末繰越活動増減差額	126,556	218,040	-91,484	
	その他の積立金取崩額	81,533	74,000	7,533	
	その他の積立金積立額	5,190	56,018	-50,828	
	次期繰越活動増減差額(20)	202,899	236,022	-33,123	

■法人単位貸借対照表(第3号第1様式) 令和2年4月1日～令和3年3月31日

法人合計【税込】 単位:千円

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
【流動資産】	216,169	【流動負債】	56,826
現金預金	93,103	事業未払金	10,757
事業未収金	119,545	その他の未払金	112
未収金	800	1年以内返済予定設備資金借入金	12,024
未収収益	84	預り金	110
立替金	274	職員預り金	1,866
前払金	244	前受金	55
前払費用	2,119	賞与引当金	31,902
【固定資産】	985,415	【固定負債】	294,259
基本財産	713,886	設備資金借入金	209,344
その他の固定資産	271,530	退職給付引当金	84,915
		負債の部合計	351,085
		純資産の部	
		【基本金】	326,520
		【国庫補助金等特別積立金】	162,886
		【その他の積立金】	158,195
		【次期繰越活動増減差額】	202,899
		(うち当期活動増減差額)	-109,466
		純資産の部合計	850,499
資産の部	1,201,584	負債及び純資産の部	1,201,584

■令和3年度事業計画

朔風はこれまで「いくつになっても地域で安心して暮らせる」仕組みづくりに取り組んでまいりました。令和3年度は、朔風設立20年目を迎える中、2つの自主事業の廃止及び「えるむ」の事業の見直しを行いました。札幌市こぶし館につきましては、札幌市障がい福祉課と協議の上、令和3年度より就労移行支援事業の定員を20名から10名に削減し、より効率的で収支が安定するように事業を執り行います。また、利用者及び保護者からのニーズが多い共同生活援助事業所の新規グループホームを2か所増設して、更なる地域生活の充実を図っていきます。

1. 指定障がい福祉サービス事業の運営(下線は変更のあった事業)

就労継続支援B型「やまはなワークス」(定員30名)

やまはなワークス従たる事業所「さくらんぼ」(定員10名)

就労継続支援B型「札幌社会復帰センター」(定員60名)

就労継続支援B型/就労定着支援「えるむ」(定員20名)

生活介護「ひのき」(定員30名)

生活介護「つくし」(定員20名)

就労継続支援B型「ひいらぎ」(定員20名)

生活介護「小春びより」(定員25名)

就労移行支援・就労定着支援「札幌市こぶし館」(定員10名)

就労継続支援B型(多機能型)「札幌市こぶし館」(定員10名)

2. 居宅支援事業の運営

共同生活援助「N-34」(定員6名)

共同生活援助「ウッドベル山鼻」(定員4名)

共同生活援助「はるかぜ」(定員5名)

共同生活援助「N28」(定員5名)

共同生活援助「ノール中の島」(定員4名)

共同生活援助「とみおか」(定員4名)

共同生活援助「円山さくら」(定員4名)

共同生活援助「さくら下手稻」(定員5名)

共同生活援助「あさひ」(定員4名)

共同生活援助「ひかりに」(定員5名)

共同生活援助「北時計」(定員5名)★新設

共同生活援助「ほたる」(定員5名)★新設

3. 単独型短期入所事業の運営

短期入所「うみかぜ」

短期入所「つくしホーム」

短期入所「じゅーく」

4. 高齢者棟の運営

共同生活援助「そら」(定員19名)

日中サービス支援型共同生活援助「あおぞら」(定員16名)

5. 指定特定相談支援事業「相談室ベガ」の運営

6. 法人自主事業 地域生活支援「サポートやまはな」の運営

7. 法人本部事務局の運営

8. 地域交流・貢献事業 つくし地域交流多目的施設の運営



2つのグループホーム  
を移転・新設しました  
左:ほたる  
下:N28(1階)  
北時計(2階)



## 役員改選が行われました

社会福祉法人の経営組織は理事・評議員・監事から構成されています。令和3年6月の任期満了に伴って役員の改選が行われ、朔風の設立以来長きに渡ってお力添えをいただきました高橋英志氏、相沢瀏氏の両評議員が退任されることとなりました。

新任となる2名の方をお迎えして評議員7名、また再任となる理事6名、監事2名が就任されましたので、改めてお知らせします。(敬称略)

理事	評議員	監事
中山 慶治<理事長>	中原 明	成田 義晃
河原 昌春	小林 保文	外山 貞雄
及川 正治	宮西 洋子	
岩間 安泰	松井 英樹	
坂井 篤	門内 勇治	
穴戸 勝	樋口 賢治(新任)	
	小玉 和則(新任)	

## 統括施設長より

朔風が設立されたのは平成14(2002)年1月でした。年が明けると20年を迎えます。22年前に「社会福祉基礎構造改革」で、社会福祉制度が大幅に見直しされたことが一つのきっかけになりました。

また、当時は札幌市手をつなぐ育成会が札幌市の補助を受けて作業所や生活寮を運営していましたが、市の財政難により補助事業の存続が危ぶまれました。そこで社会福祉法人を立ち上げて法定社会福祉事業へ転換することを決め、朔風が誕生したのです。朔風では、一貫して「利用者のために」必要なサービスは制度にこだわらず提供しようと事業を作ってきました。この方針は変わることはありません。しかし一方で、措置から契約に制度が変化した社会福祉法人も「経営」が求められる時代です。令和2年には障がい福祉事業者の倒産と休廃業・解散が全国で127件と、2年連続で100件を上回っているそうです。法人が長期的に安定した経営を維持するため、事業の再編も視野に入れながら、求められる質の高いサービスを変わずに提供するという課題に取り組んでいく必要があります。これまで粉骨砕身されてきた先人には力が及ぶべくもありませんが事務局長はじめ管理者、職員、役員と力を合わせ努力しますので、ご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます。(岩間安泰)



# 熱中症にならないために



## 暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ



## のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう



- ・1日あたり  
**1.2L(1.2リットル)**を目安に



1時間ごとに コップ1杯  
入浴前後や起床後も  
まず水分補給を

ペットボトル  
500mL 2.5本  
コップ約6杯

- ・大量に汗をかいた時は**塩分**も忘れずに



## エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

( エアコンを止める必要はありません )

注意

一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど**2か所**を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する



- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定



## 暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)



- ・毎朝など、**定時の体温測定と健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**

気温や湿度がどんどん上がってしまうようなとき、「熱中症」になる人が多くなります。人のもっている「からだ」が熱くなりすぎないようにするはたらきが崩れてしまうせいです。頭痛やめまい・吐き気などを起こして体調が悪くなり、重症になると亡くなることもあるため注意が必要です。暑い日に外に出るときは、近くの人と2メートル以上離れているならマスクを外してもかまいません。そして、家や建物の中でも熱中症にかかることがあります。のどがかわいていなくてもこまめに水分を取り、たくさん汗をかいたときは塩分も取るようにしましょう。



社会福祉法人朔風 広報紙 朔人(さくっと) 第5号 令和3年8月1日発行  
 発行人/理事長 中山 慶治  
 発行/社会福祉法人 朔風(札幌市中央区南19条西8丁目2-7)  
 編集責任者/坂井 篤  
 ホームページ/<https://sakufu.sakura.ne.jp/>  
 \*左のQRコードからもアクセスできます